

第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

報告書資料 一般 - 110

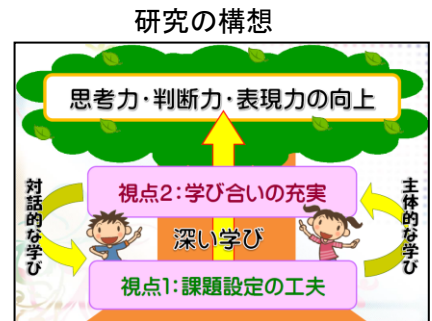
学校名・団体名	天草市立本渡北小学校
コース	学校支援
活動・研究のテーマ	深い学びにつながる学び合いの授業づくり

〈活動・研究の意義および活動報告〉

本校は、研究テーマを「自ら考え、ともに高め合う北っ子～深い学びにつながる学び合いの授業づくり～」とし校内研究を推進している。児童一人一人の思考力・判断力・表現力を育てるために、問題解決的な学習を工夫し、仲間と共に課題を解決していく学び合いの学習を、多くの授業実践を通して積み重ね、主体的・対話的で深い学びの追究に努めてきた。年間2回の自主公開授業研究会（6,9月）と1年間の研究をまとめた研究発表会（2月）を実施し、天草市の中心校である本校から他校へと、自ら考え、ともに高め合う児童の姿を発信し、学び合いの授業の大切さを広めてきた。

1 めざす授業

児童が何を学ぶかが分かり見通しをもって取り組む授業
教師でなく児童が主体の全員参加型授業
学び合いを通して自分の考えが広がったり深まったりする授業
深く納得したりふりかえったりして学びの実感がもてる授業



(1) 研究主題

「自ら考え、ともに高めあう北っ子」を目指して
～深い学びにつながる学び合いの授業づくり～

(2) 研究の仮説

問題解決的な学習を工夫し、ともに課題を解決していく学び合いの授業を積み重ねることで、学びが深まり、児童一人一人の思考力・判断力・表現力が育つであろう。

2 学習活動のカギは学習課題【視点1：課題設定の工夫】

(1) 導入の工夫

問いを引き出す問題提示 <ul style="list-style-type: none"> ・疑問を持たせる ・既習事項を想起し比べさせる ・発問で興味関心意欲を高める ・考える必要性を感じさせる ・ゲーム的要素で意欲を高める 	→	児童の視点での課題設定 <ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標に迫るもの ・意欲を高めるもの ・多様な考えを引き出すもの ・分かりやすい具体的なもの 	提示方法 <ul style="list-style-type: none"> ● 写真・動画の提示 ● ICT機器の活用 ● 実験の演示 ● 部分提示
---	---	--	--

(2) 深める問い『ジャンプの問い』

提示された課題の解決過程でさらに学びを深めるために、深める問い『ジャンプの問い』に挑戦させる。児童から新たに出た問いや、教師のゆさぶる発問、難易度を上げた問題などがこれにあたる。深める問い『ジャンプの問い』を通して、課題についてもう一步踏み込んで深く考える機会を設けることで、より理解を深めたり、新たな考えを形成したりして、思考力・判断力・表現力を豊かなものにしていく。

3 学び合いで学びを深める【視点2：学び合いの充実】

(1) 思いや考えをつなぐ

学び合いで、考えを伝えたり受け止めたりして意見をつないでいくことで学びが深まる。そのときに、『まなボード』や『ネームプレート』、『言葉のポケット』などのツールを活用することで学びが主体的・対話的になり得る。

ネームプレート

- まなボード上で動かしながら
- 黒板に全員分を貼って

みんなが参加しているね

意見表示で立場をはっきり

まなボード

- 図・式・表の活用
- 書きながら説明しよう
- 下線や矢印の活用
- キーワードを

題：文
語：大事なところ
術：先生用

ことばのポケット

受け止める

伝える

考えをつなぐ

(2) 深い学びにつなぐ

「友達との学び合い」では、分からないところを尋ねたり他の場合を考えたりすることができる。一人で見るところで終わらずに、友だちと一緒にその先まで追究することで、考えを広げたり深めたりすることができる。「聴き合う」、「教え合う」、「尋ねる」、「受け止める」、「説得する」などの友だちとの学び合いを通して、深い学につながる。

説明する

- 図や式、数直線などを使って
- 書きながら 指し示しながら
- 相手の理解を確認しながら
- 結論を先に、理由を併せて

まなボードを使ってみよう

比較する

立場をはっきりさせて意見を交換する

- AとB、どちらか
- 賛成か、反対か
- 一番はどれか

多様な意見で考えを広げよう



4 実践事例

5年国語「明日をつくるわたしたち」

説得力のある提案書にするためにはどうしたらよいか。

ちいきの人と仲良くしていくことがとても大事なことだと思う

山本 拓々 葉

これからの社会をつくっていくわたしたちがやるべきこととして、「ちいきの人と仲良くしていく」ということについて、具体的な案を提案する。

1. 提案

自作教材

ちいきのつながりを強くしよう

中野 真由 莉上

これからの社会をつくっていくわたしたちがやるべきこととして、「ちいきの人と仲良くしていく」ということについて、具体的な案を提案する。

1. 提案

教科書教材

なぜ、きっかけを先に書いて提案事項を後に書いた方がいいのか。

内容に不備のある提案書と比較しながら考えることで、形式だけでなく内容や構成まで踏み込んで考えることができる。

2つを見比べてよさを見つける学習

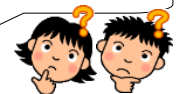
4年社会「わたしたちの県のまちづくり」

県の交通図を活用しながら高速道路、空港、港等を押さえ、交通の広がり方を調べていく。



熊本県の交通の中心は天草だね！とても便利だね！

本当にそうなのかなあ



天草の交通がもっと便利になるためにどうしたらいいのだろう

天草の交通の不便さを捉え、新しい交通機関だけでなく、既存の交通機関をうまく活用することも考える。いろいろな場所とのつながりが天草の発展に寄与することを捉えさせる。

発問で揺さぶりより深く考える学習2

5 授業づくりに取り組んで

『授業で勝負!!』を合い言葉に授業実践を多く積み重ねてきた。学年部会や教科部会など組織で授業づくりをすることで「どんなジャンプの問いにしたら考えが広がるか」、「どんな学び合いをどこに持ってきたら効果的か」とアイデアを出しながら授業を作ってきた。授業終了後の研究会でも、小グループで意見交換をし授業改善に取り組んできたことで、職員の共通理解が深まり、同じ方向を向いて授業展開がなされるようになったことが成果の一つである。

学び合いを通して、一人では集中が難しい児童も、友だちの意見を聞いて自分の意見をつくり上げることができている。また、他の児童の意見を大切にしたり、困ったときは助けを求めたりするなど、課題解決に向けて主体的に学ぶ姿が見られ、よりよい人間関係づくりを基盤とした学び合いの授業づくりの成果も見られる。課題設定の工夫と学び合いの充実とを併せて取り組んできた結果、学ぶ楽しさや課題を追求する意欲が高まり、同時に考えを広げたり深めたりしていると実感している児童が増えた。今後も、単元および一単位時間で何を学ばせたいのかを明確にし、それに見合った課題設定を工夫しながら、全ての児童が学びに参加して考えを広げたり深めたりできる学び合いの授業を積み重ね、一人一人の思考力・判断力・表現力の育成に努めていきたい。